

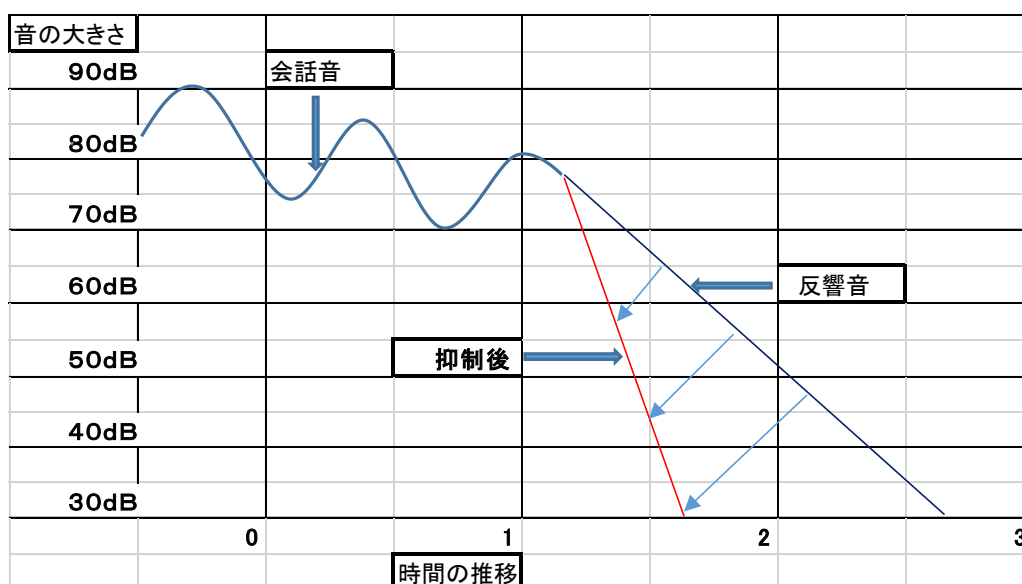
【反響音抑制】

反響音とは、閉ざされた空間や部屋で、壁から反響する連続音による物理的な現象です。例えば、会議室で「ハ～イ」と言ったとしましょう。これが反響すると「ハ～イ、イ、イ、イ」と聞こえます。これと似た現象でエコー（こだま）がありますが、この場合は「ハ～イ、ハ～イ、ハ～イ、ハ～イ」と聞こえるので、この2つは完全に別物です。

閉ざされた空間にいますと、反響音は常にあります。空間や部屋のサイズ、さらに壁の品質などの音響的条件で、反響音の大きさは異なってきます。補聴器を使用しているときは、出来るだけ壁から離れることが良いでしょう。講演会などの大きな会場でも極力前方の席に座って講演を聞きましょう。反響音は会話の理解と聞き心地に悪い影響を与えます。また、難聴が進むと、この反響音が騒音の役割をするので、明瞭性がさらに悪くなります。

反響音の抑制は、デジタル補聴器の性能が向上したことで抑制が出来るようになりました。

【騒音抑制機能】が常に周りの騒音を監視していることにより、独特の波形を持つ反響音を察知することが出来るようになりました。反響音抑制の仕組み図を掲載しておきます。



反響音の大きさを抑制することで、明瞭性も聞き心地も向上するのですが、問題はここでも時間です。如何に早く反響音を察知して、瞬時に抑制できるか、補聴器メーカーによる違いが出てくると思います。